



しののめ

平成29年5月8日発行



「成長を支えるもの」



校長

川本 幸則

今年春の訪れが遅いことが幸いとなり、桜の花を背景に学級写真の撮影ができました。中庭の花壇も色とりどりの花が美しさを競っています。

入学式で二五二名の新生を迎え、新年度のスタートを切りました。生徒が、目標をもって学校生活に取り組んでいる様子を校内の様々な場面で見られる生き生きとした表情から感じ取れます。

毎朝、校門で生徒を迎えるとき、「おはようございます」とあいさつをする生徒が多くいます。三年生が率先してあいさつをする姿から、上級生の自覚を感じます。時々、おしゃべりに夢中になっている生徒もいますが、朝のあいさつを交わせると温かな気持ちになり、一日を気持ちよくスタートできるものです。

生徒が出入りする昇降口では、靴箱に下靴がきちんと入れられています。当たり前なことではありますが、きちんと整頓してある様

子は美しいものです。そして、廊下に目をやると、休み時間は賑やかな場所も、授業が始まる少し前には静かになり、誰もいません。皆、授業に備えて着席し、開始を迎えることができます。また、職員室の出入り口では、入室した生徒が自分の名前、用件などを述べています。声の大小はありますが、礼儀正しい態度に好感がもてます。廊下ですれ違うときに「こんにちは」とあいさつをする生徒も多くいます。

特別なことではありませんが一つ一つのことはたいへん清々しく気持ちの良いものです。あいさつができることや規律が守れることは、社会の一員として大切なことでもあります。そして、これらのことは生徒が成長していく上での基礎となっていくものです。本校では、昨年度に引き続き「さわやかな笑顔輝く東中生」を目指します。特に、「互いに認め合い、頑張り合える仲間づくり」に意識して取り組ませ、生徒の健やかな成長を支えていこうと考えています。皆様方のご理解とご協力をお願いします。



瀬戸地方中学校サッカー(U15)大会



吹奏楽部スプリングコンサート



瀬戸地方バスケットボール選手権大会

部活動の様子

第31回瀬戸尾張旭地区中学校バレーボール競技春季大会
男子 優勝 女子 第3位